

公衆衛生看護活動展開論	2年・後期	2単位	准教授 島田 昇
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33330962

1. 授業のねらい・概要

対象者の発達段階や健康障害の特徴に応じた保健福祉活動とはどのようなものなのかを理解し、具体的に母子・成人・高齢者・精神障害者・難病・感染等に対する活動の基本および保健指導について学ぶ。また、対象者が主体的に問題解決できるための支援・介入の基礎を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 地域に生活する対象者の発達段階・健康問題の特徴を理解する。
2. 発達段階・健康障害・健康課題に対する保健福祉活動を理解する。
3. 保健師に求められる保健指導・相談・支援・介入技術を学ぶ。

3. 授業の進め方

自己学習をしやすいように、基本的にテキストに沿って授業を進める。対象別の発達段階、発達課題、特性と社会状況を理解、地域における保健活動および保健事業について学びを深められるよう、地域保健福祉に関連するトピックスなどもとりあげ、時代と社会背景に即した保健活動についても考察できるようにする。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	母子保健活動論① （わが国の母子保健）	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「母子保健施策」, 「乳幼児の健康と保健指導」を読んでおく こと。 復習：講義内容の乳幼児の成長発達と保健 指導について教科書を使ってまとめること。	島田 昇
2	母子保健活動論②母子健診 （乳幼児の成長・発達と保健指導）	演習	予習：課題「乳幼児健診の目的と意義」, 「乳幼児の身体的発達の特徴」, 「成長発達曲線（97パーセントタイル, 3パーセントタイル）」についてレポートにまとめる。 復習：ロールプレイ（母子健康相談）の 内容をレポートにまとめる。	島田 昇
3	成人保健活動論① （成人保健の動向）	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「特定健康診査・ 特定保健指導」を読んでおくこと。 復習：講義内容の特定保健指導における階 層化、メタボリックシンドロームの診断基 準について教科書を使ってまとめること。	島田 昇
4	成人保健活動論② （成人保健と保健指導）	演習	予習：特定保健指導における教育教材につ いて活用方法をよく理解しておくこと。 復習：ロールプレイ（特定保健指導）の 内容をレポートにまとめる。	島田 昇
5	高齢者保健活動論① （介護保険制度）	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「介護保険制度」 を読んでおくこと。 復習：講義内容の地域包括支援センター、 地域保活ケアシステムについて教科書を使 ってまとめること。	島田 昇
6	高齢者保健活動展開論② （高齢者と保健指導）	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「高齢者虐待防止 と保健活動」を読んでおくこと。 復習：講義内容の高齢者虐待の種類、通報 先、地域包括支援センターにおける権利擁 護について教科書を使ってまとめること。	島田 昇
7	地域精神保健活動論 （精神保健福祉活動）	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「精神保健に関す る施策・制度」を読んでおくこと。	島田 昇

			復習：講義内容の精神保健福祉法，精神保健福祉センター，精神保健福祉手帳について教科書を使ってまとめること。	
8	障害者（児）保健活動論	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「障害者（児）保健施策」を読んでおくこと。 復習：講義内容の障害者総合支援法における市町村の役割，国際生活機能分類（ICF），ノーマライゼーションについて教科書を使ってまとめること。	島田 昇
9	難病保健活動論	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「難病保健施策」を読んでおくこと。 復習：講義内容の指定難病医療医助成制度，保健所の役割（難病対策地域協議会の設置）について教科書を使ってまとめること。	島田 昇
10	感染症保健活動論	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「保健活動の基本となる感染症法のポイント」を読んでおくこと。 復習：講義内容の感染症の類型別の対策について教科書を使ってまとめること。	島田 昇
11	災害時保健活動論	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「災害保健概論」を読んでおくこと。 復習：講義内容の災害発生時の体制づくりについて教科書を使ってまとめること。	島田 昇
12	口腔保健活動論・健康教育	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「ライフステージ別歯科口腔保健対策」を読んでおくこと。 復習：講義内容の乳幼児期の歯科口腔保健活動について教科書を使ってまとめること。	島田 昇
13	健康教育指導案の作成	演習	予習：提示された健康教育（テーマ）について，指導案，シナリオ，教育媒体について作成の準備をしておくこと。 復習：健康教育実践（実施）に向けて指導案，シナリオ，教育媒体を見直しておく。	島田 昇
14	健康教育の実践	演習	予習：健康教育実践（実施）に向けてリハーサルを行い，準備を進めておくこと。 復習：健康教育実践（実施）後，リフレクションを行い，改善点についてまとめること。	島田 昇
15	地域診断の方法	講義	予習：課題「地域診断の様式 1～6 について，情報収集をしておくこと」 復習：抽出した健康課題についての地域保健活動計画の立案をすること。	島田 昇

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）90%，課題レポート 10%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：荒賀直子，後閑容子（2022）：公衆衛生看護学第 5 版 データ更新版，インターメディカ。

参考文献：中央法規：公衆衛生看護学，日本看護協会出版会，公衆衛生看護学。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲内について，キスト内容の熟読し，予習（60 分）程度を行うこと。

受講後は講義内容をノートにまとめる復習（60 分）を実施すること。

8. 受講上の留意事項

テキストの指定された範囲は事前に読んでから授業に臨むこと。
日常的に新聞を読み、ニュースに触れる機会を多くもつよう努力すること。
遅刻，欠席ならびに授業中の私語，授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。
講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。
提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

保健師教育課程必修科目であり，修得できない場合保健師国家試験受験資格が不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関および，医療機関での保健師としての勤務経験を活かして，講義・演習を行う。